

第7回オストメイトサロン報告

日時 : 平成25年5月18日
参加者数 : 10名(患者6名、家族4名)
会場 : 患者図書館
対象者 : 人工肛門・人工膀胱造設者とその予定者

《内容》

まずは患者さんの自己紹介から始まりました。人工肛門や人工膀胱造設に至った経緯を話される方や、同じ境遇の人達の意見を聞いてみたいという方が多かったです。そのため情報交換では活発な発言がありました。排便コントロールにおける食事内容や運動について、入浴時の工夫やセルフケアの方法など日常生活をどのように過ごしているのか、それが仲間の不安や疑問の解消につながっていました。ストマ交換は妻まかせという方が、災害時の事も考えて全て自分で行っているという仲間の話を聞き、「自分で出来るようになっていかないとだめだな。」



活発な意見交換でした

と自分でする必要性を理解され前向きな発言

をされていました。人工膀胱造設者予定の患者さんは先輩達の話聞くことでイメージが

ついたのか少し不安が解消されたと話されました。患者さん同士で解決出来ない時は WOC ナースが助言することで問題解決につながり、和気あいあいとした中、有意義な時間を過ごすことができました。最後に以前より検討中であったオストメイトサロンの名称は、候補の中から“そよかぜ”と決定しました。出席者からは爽やかな風が吹くようで優しいイメージと好評でした。



参加者全員で笑顔